

水道用ポリエチレン二層管 金属継手の施工上の注意点 について教えてください

Answer

1. はじめに

給水システム協会では、平成30年度に日本水道協会規格JWWA B116水道用ポリエチレン管金属継手をベースに耐震性能を検討し、給水システム協会規格としてWSA B011 水道用ポリエチレン二層管金属継手を平成30年度に制定しました。

実際の現場においてどのような施工不良が起きているのかを調査し、施工不良の低減のために、施工手順とその注意点について説明致します。



図 水道用ポリエチレン二層管用金属継手（構造図例）

2. 施工上の注意点とチェックポイント

工程1) 部材及び工具準備

- ・管種、呼び径確認、継手種類、使用工具の確認

工程2) 管の切断作業

- ・管を直角に切断

○ 良い例



× 悪い例



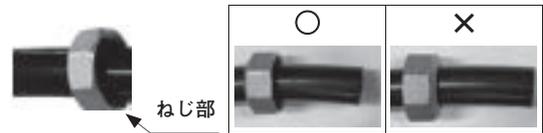
- ・管表面にキズがないことを確認
 特に管軸方向（縦方向）のキズはNG

× 悪い例

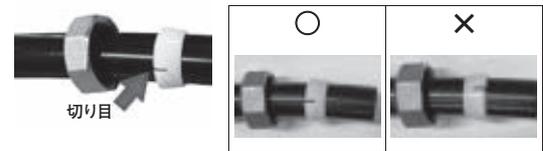


工程3) ナット、リングの取付け作業

- ・ナットねじ部を管端側に向けて管に取付け

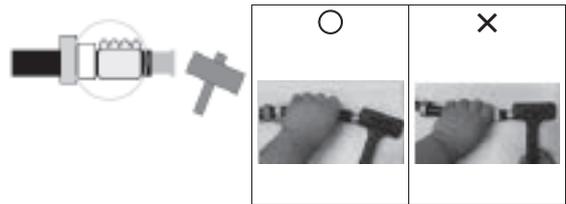


- ・リング切り目をナット側に向けて取付け



工程4) 管へのインコア打込み作業

- ・インコア打込み時のリングの位置確認

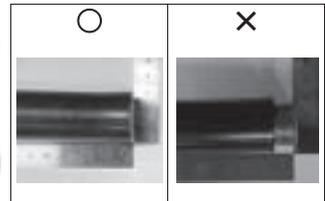


- ・インコアの取付け状態確認

○ 良い例

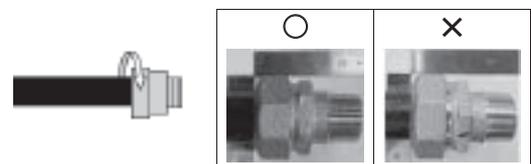


× 悪い例



工程5) ナットと胴の締付け作業

- ・標準締付けトルクでナットと胴を締付け



3. まとめ

JWWAB116に規定されている締付け形継手は、容易で且つ確実な施工が行えることから多くの水道事業体で採用されています。より確実性の高い施工を行うために、給水システム協会では、引き続き協会活動を通じて施工不良低減に寄与する取り組みに努めて参ります。